

## 健康日本 21 清須計画（第 2 次）及び清須市自殺対策計画に関する実務者会議報告書

1. 日 時 令和 4 年 8 月 24 日（水）午後 2 時から 3 時 30 分
2. 場 所 南館 3 階 大会議室
3. 参加者 庁内 6 課<sup>※1</sup>及び社会福祉協議会<sup>※2</sup>の実務者 8 人

※1 人事秘書課、社会福祉課、高齢福祉課、子育て支援課、学校教育課、生涯学習課

※2 地域包括支援センター、障がい者サポート支援センター清須

欠席 保険年金課、学校給食センター

## 内容

- 1) あいさつ
- 2) 健康日本 21 清須計画（第 2 次）及び自殺対策計画について
- 3) 歯の健康について
- 4) 愛知県の取り組みについて
- 5) 清須市の取り組みについて
- 6) グループワーク：『かかりつけ歯科医を持っている人の割合を増やすために』

## 【テーマ 1：現在の取り組み状況の共有】

- ・地域包括支援センター：地域ケア会議にて、口腔に関する取り組みシートがある。他職種から課題を出してもらい、意見を出し合って今後の計画や対応に活用している。年 5 回程度、栄養士、歯科医師等が出席。
- ・社会福祉課：生活保護の方が受診できるよう医療券の発行。訪問診療の制度がある。
- ・人事秘書課：無料の歯科健診（職員）4 月～6 月まで 10 件ぐらい。ほとんど同じ人が受診している。
- ・学校教育課：保健所が主導で会議などに参加している
- ・子育て支援課：児童へは、年齢や時期ごとに健診を周知している。保護者へは歯ブラシの正しい持ち方等を指導。
- ・高齢福祉課：出前講座や公開講座で歯科のテーマで実施している。健康意識の高い方が講座に参加。いこまいか教室で「飲み込みにくくなった」または「噛みにくくなった」の口腔機能低下項目に丸をつける方が 42.5%と多い。パタカラ体操を行う。かかりつけ医の有無についてはアンケートを取っていない。教室に参加されない方への啓発が課題。マスクをしていると、唾液を飲み込みにくくなる。口周りを動かさないことでの口腔機能の低下。北名古屋市、清須市、豊山町で作成した口腔観察シートを利用。義歯が合わなくなると歯科受診。
- ・生涯学習課：高齢福祉課や健康推進課、子育て支援課が行う事業に比べ、対象者は幅広い。
- ・障害者サポートセンター：自閉症などの受診に「行く」「医師に会う」「座る」「受診」と段階を踏まないといけない場合、そこまでしてもらえない歯科医院は少ない。

## 【テーマ 2：今後取り組みそうなこと、他の課や機関と繋がれそうなこと】

- ・人事秘書課：歯科健診は本人だけでなく被扶養者も対象であることを今後 PR していく。
- ・学校教育課：子どもの歯だけでなく家族の歯についても学校の案内等で啓発していく。
- ・社会福祉課：障害者、生活保護の方についてはワーカーから聞くこともできる。
- ・今は、子育て世代が利用しやすいように歯科医院での治療中、託児をしてくれる歯科医院もあるため、そういったところを周知していく。
- ・高齢者は定期検診という形にすると行かなければと思う人もいるため、広報等で積極的に周知をしていく。
- ・高齢福祉課：独居死亡で身元不明者の場合、歯科受診により身元特定可能。震災なども歯科受診の啓発できるといい。段階を踏まないといけない場合、歯科医師会長と相談や保健所会議で話し合ってみてはどうか。
- ・生涯学習課：成人式での啓発。高齢福祉課や健康推進課、子育て支援課が行う事業とは啓発する方が別の対象。

- ・障害者サポートセンター：生活困窮者は歯が無い方が多い。生活保護は無料だが生活困窮者はお金がかかるため、何か良い啓発方法を考えていけるとよい。

### 【総評】 愛知県清須保健所 地域保健グループ 歯科衛生士 吉田 彩乃 様

歯をテーマに会議をやってもらえて良かった。また、市町村での各課の取り組み等を聞いて勉強になった。歯科は予防可能で効果的な治療があるため、きちんと理解して考えていくことが重要。歯と口の健康については幼児期からのフッ化物洗口が大事。また、学童期のフッ化物洗口が成人期への意識向上につながり、成人期以降も歯周病予防になる。

令和7年からは国民皆歯科検診が始まるため各課・機関でできる取り組みを進めていってほしい。保健所も協力できることがあれば一緒に取り組んでいきたい。

### 【まとめ】

国民皆歯科検診がこれから始まっていくこと、清須市で歯科の条例が制定されたことなど世間で歯科の関心が高まっていることから、普段重要視されにくい「歯科」にスポットを当てて会議を開催しました。グループワークを行うことで1つの課だけでは中々思いつかない啓発方法や周知方法を関係課や関係機関がお互いに共有することができました。

かかりつけ歯科医を持っている人の割合を増やすために健康推進課としても、新たな事業を始めるのではなく、既に行っている事業の中で、ナッジを活用したチラシの文言を考えるなど、周知の仕方を工夫する、あらゆる事業や機会がある度に、啓発ができるのではと考える等、小さなことから計画の推進ができるのではないかと気付きもありました。また、話し合いをすることで、どういった人が受診しにくいのかなどアプローチすべき対象者も改めて把握することができました。

今後できそうなことを考えていくと、同時に課題も見つかったため、それぞれの所属に還元していただき、できそうなことに取り組み、課題について話し合っただくこと、また各課の連携と取り組みが必要であり、歯科の取り組みが課題となったときに実務者会議のことを思い出していただくことが、今後の健康日本21 清須計画（第2次）の推進に繋がっていくと感じました。また歯科衛生士によって歯の重要性について話していただいたことで関係課や関係機関の方の取り組みへの意識付けにも繋がったと考えます。かかりつけ医を持つ人を増やすこと、定期受診する人を増やすこと、を目標としていることも共有、再確認できました。

今回の会議を通して、関係課や関係機関と交流し繋がることもできたため、今後は横の繋がりをよりいっそう意識して、協力することで健康計画の推進に努めていきたいと思えます。

